

★「人間中心の教育」とは

Person-Centered Education ともいい、その人の人間としての存在や成長を中心に教育活動をしていこうとするものです。

今、職場から失われようとしている、ゆったりのんびりした雰囲気の中で、他者の言葉を聴き、互いが「ここにいること」を確かめ合いながら、もう一度自分を見つめ、日常の子どもやさまざまな人と自分との関係を振り返ってみませんか。

ほっと一息ついて、明日から元気が湧いてくる。そんなひとときを夏の大阪で一緒につくりましょう。

貴重な時間を私たちと共有してくださる方々の、多数のご参加をお待ちしています。

★「人間中心の教育研究会」へ入りませんか

本研究会は、人間を尊重する教育を、実践的、理論的に求めていこうとする人達が手をつなぐ会です。一緒に、少しずつ、歩みませんか。

◇入会申込み先

E-mail: pca-mizuno8@nifty.com(水野行範)

◇会費納入 年3,000円

◇郵便振替

〈口座番号〉00910-2-107598

〈加入者名〉人間中心の教育研究会大阪事務局

★セミナー申し込み方法

1. 7月26日(水)までに下記2の内容をメールでお知らせ下さい。参加費は当日会場でお支払い下さい。

◆申込み・問合せ先

E-mail: ningen83@gmail.com (小幡浩次)

2. 参加申込みに必要な情報

- ①名前 ②現在の所属 ③連絡先住所
- ④電話 ⑤Eメール ⑥参加に際しての希望事項
- ⑦両日参加・第1日目(希望のグループ)、第2日目のみ参加などをお知らせ下さい。

3. 会場: アウリーナ大阪(旧なにわ会館)
大阪市天王寺区石が辻町 19-12
TEL: 06-6772-1441

4. 参加費: 8000円 ただし、会員・学生は、7000円、1日参加は6000円

5. 定員: 20名 2日目EGは16名まで。

6. スタッフ: 水野行範・八尾芳樹・村田進
野近和夫・横山直子・大島利伸
東口千津子・松井幸太

7. 宿泊については、アウリーナ大阪や近隣の国際交流センター内ホテル等に各自でお申込み下さい。

8. 咳、発熱等の症状のある方は当日参加をご遠慮願います。

9. 感染症拡大状況、また人数が少ないときは中止を含め運営方法について考慮し、メール等で連絡させていただきます。ご了承願います。

第36回人間中心の教育セミナー

教育・心理に

たずさわる

人たちのために



2023年8月2日(水)3日(木)
人間中心の教育研究会主催

☆web: <http://pcaningen.web.fc2.com/index.html>

★日程

2023年8月2日(水) 3日(木)

1日目(8月2日)

- 9:30~ 受付開始
- 10:00~ オリエンテーション
- 10:40~ ワークショップ(分科会)
- 12:40~ ≪ 昼食 ≫
- 14:00~17:00 (午前中に引き続き)
ワークショップ
- 17:10~18:40 人間中心の教育研究会総会

2日目(8月3日)

- 9:30~ ベーシック・エンカウンター・グループ
- 12:00~ ≪ 昼食 ≫
- 13:30~15:50 (午前中に引き続き)
エンカウンター・グループ
- 16:00~17:00 全体交流会

★「ベーシック・エンカウンター・グループ(BEG)」とは・・・

- (1)ベーシック・エンカウンター・グループは特定のテーマを決めずに、その場にいる参加者が、自由に、率直に、話し合い聴き合う場です。
- (2)学校や職場、家庭から国際問題まで、さまざまな葛藤や紛争の和解の手段として、個人の受容・共感・純粋性の3条件を育てる場として、発展してきました。
- (3)「20世紀の最大の発明のひとつ」とカール・ロジャーズが呼んだベーシック・エンカウンター・グループの入門コース的なものとして実施したいと思いますので、どうかご参加ください。

1日目 8月2日(水) 《ワークショップ：分科会》

G1：PCA(Person-Centered Approach/パーソン センタード・アプローチ)と自己実現

多様なライフステージでの喜びや苦しみ等の経験がどのように今の自分自身に繋がっているのか、何が自他の喜びとなっているのか、また仕事やライフワーク、社会貢献・国際協力に繋がっていくのか、一人ひとりの自己実現のプロセスについて聴き合いませんか？またPCAのあり方がどのように人間の潜在力の開花を応援し合うのかについても一緒に見つめていきませんか？
東口千津子(一般社団法人 blue earth green trees)

G2：SP(サブ・パーソナリティ)トランプによる次 世代のセルフ・エンパワーメント(自我の確立・ 超越)

パーソナリティの多面的な面をカード化したSPトランプを使用し、自己理解、子供や他者の理解そして相手の個性に合わせた対応方法を体得するワークショップです。合わせてSP、感情等内面をマネジメントする自我の強化・超越も目指します。
八尾芳樹(YAO教育コンサルタント・エンパワーメントカウンセリング研究所代表)

G3：創作体験法の実践

東洋の陰陽五行説の「相生」と「相克」は、星が飛び飛びに「交差」する5望星の配置図であるが、それは、体験過程のプロセス・モデルに見られる日常と危機が交差して表裏一体的な「ねじれ」をもたらす。一方、それは体験過程の「停滞」から「推進」へと向かう「回復」過程と軌を一にする。すなわち、危機と日常の中で交差して今ここに生きる私たちに人と人、人と環境の「出会い」の妙と究極の「いやし」をもたらすと考えられる。それを参加者がつむぎだす5望星物語の中に跡づけていきたい。

村田進(石川県立金沢西高校)

G4：「相互ミラー描画展開法の体験」

人は他者との間で、意識的あるいは無意識的に混ざりあい、重なり合い、刺激を受け合って生活しています。相互ミラー描画展開法を通して、そうした他者との間で起きている心理的な動きを体験し、日常の中で起きていることとのつながりを考えたいと思っています。教育場面やカウンセリング場面で起きていることの模擬的な体験ともなります。描画体験をひとつのきっかけとして感じたことを語り、聴き合う機会をともにしましょう。

松井幸太(関西国際大学)

2日目 8月3日(木) 《エンカウンター・グループ》

2日目はベーシック・エンカウンター・グループを予定しています。当日の参加者の人数によっては、2グループに分かれて行うかもしれません。教員ばかりでなく、スクール・カウンセラー、保護者、そして学校を外側から見守る人々等々がそれぞれの思いを語り、支え合う場にしたいと思っています。

横山直子(京都府スクール・カウンセラー)・松井幸太
大島利伸(南山大学附属小学校)・東口千津子

